



Breakthrough

九州の中小企業・留学生・日本人学生のアジア突破プロジェクト



ベンチャー起業論×Breakthroughとは

ベンチャー起業論は今年で21年目を迎える福岡大学の講義であり、「人生の経営者になる」という理念の元、講義とプロジェクト活動の2本柱で運営されています。「アクティブラーニング」をテーマに掲げ、実際に足を動かしながら学ぶことができるのが特徴です。世界を見ても数少ない、最先端の学生主体で行う講義です。

講義ではオムニバス形式を採用しており、経営者だけでなく政治家や映画監督など多種多様な業界から毎回違う講師の方々が来られて講義してくださいます。プロジェクト活動では、1チーム20名前後で構成されており、1つの企業やテーマに1年間インターンをし、千利休の「守破離」という考え方の元、企業や業界の課題や問題点などを解決していきます。2020年度のプロジェクト数は22チームあり、幅広い業界の企業様が協力してくださっています。

そして、昨年度からNPO法人ASIAの支援するBreakthroughと統合し、より多種多様なプロジェクトが増え福岡大学以外の学生も参加するようになり、お互いにより切磋琢磨し合える環境になりました。

NPO法人ASIA 代表理事より



「問題解決型」「実践型長期インターンシップ」であるBreakthroughでは、福岡市内の大学生が、企業の問題発見とその解決に取り組む活動です。Breakthroughは今年度が10年目で、全22プロジェクトが活動しました。

新型コロナウイルス感染症により、今まで不自由ない生活を送っていた学生が、生まれて初めて不自由な生活を経験しました。100年に1度といわれるこの経験により、今までの考え方や価値観が180度変わるでしょう。

将来の日本とアジア諸国との要となるのは若者たちです。どうか皆様にもこれから時代を担う学生の活動にご理解いただき、ご支援いただきますようお願いいたします。

NPO法人ASIA
代表理事 吉田 茂視

「コロナがドラえもんを連れてきた」

今年は、ベンチャー起業論を始めて20年以上経ちますが、コロナのお陰で、これまでにない多くの経験をしました。入学式もなく、キャンパスから学生の姿が消えて、非対面授業が中心となりました。最初は、どうなるのかとても不安でしたが、実際やってみたら、想像もしていないような素晴らしいことが多くありました。通常の講義だと、決められた時間に、決められた場所に身体を移動しなければならないのに対し、遠隔事業では、学生も、講師の先生も時間と空間を超えることが可能になったのです。それで、私は、興奮し「コロナがドラえもんを連れてきた」とベンチャー起業論が新しい時代に突入する予感がしています。

学生はビジネスプランコンテストの集客もアナログ中心のアプローチで、ポスターを作り、学生が分担して色んな人を訪問し、「是非、コンテストに来てください」と大きな声で訴え続け、「あいにく、その日は予定が入っているよ」と言われば、諦めるしかないと考えていましたが、「外出先で、少しでもみてください」とか「後日、Youtubeでみてください」とか言えるようになりました。

ベンチャー起業論の活動が時間と空間の制約から開放されたと考えると、活動自体が新たなステージに突入することと考えています。そして、今までの広報戦略のやり方が根本から見直さなければならないと、強く意識するようになりました。私の定年が70歳で、私が福岡大学の教授として、この活動を継続できるのは残り3年です。ベンチャー起業論の学生主体の活動、「人生の経営者」の理念、守破離の考え、アイディアより実現可能性を重視した起業家育成教育の取り組みは、全国に通用すると実感しております。特に最近のように多くのメンバーの方々の支えや、特別審査員や来賓の方々からの関心の高さを考慮すると、この思いを強くしております。



ベンチャー起業論×breakthrough
コーディネーター 阿比留正弘

阿比留 正弘（あびる まさひろ）

福岡大学 経済学部 教授

1953年生まれ。

1978年青山学院大学経営学部卒業、証券会社勤務を経て、85年筑波大学大学院博士課程単位取得退学、95年9月筑波大学 博士（経済学）、85年 福岡大学講師、93年から現職。

「ベンチャー起業論」を主宰。学生主導の運営で実践的で主体的な学びの機会を創出する。

学生代表 挨拶

今日は「ビジネスプランコンテスト2020」にご来場いただき、誠にありがとうございます。福岡大学ベンチャ一起業論・Breakthrough 21代執行部学生代表の田邊咲樹と申します。今回、このように沢山のご来場者の方々に我々学生の発表をご覧になっていただけたこと大変有難く思っております。

このベンチャ一起業論・Breakthroughという組織は歴史をたどりますと21年前に発足し、歴史の深い団体となりました。「講義を部活動のように。」コーディネーターである阿比留正弘教授が仕組みづくりをはじめ、今では福岡県を中心とした学生、企業、教授、行政など様々な方が関わる組織となりました。この組織で学生は「自主性」を重んじて活動しております。これには阿比留正弘教授の「教えない教育」の信念があり、普段の講義でも阿比留教授が前に立ち話すのは5分、時間が取れない日もあり、講義運営は学生が行っております。その分失敗をすることが多いのですがベンチャ一起業論・Breakthroughでは「失敗は最高のネタ」という考え方の元、失敗を生きた教材として全体で共有を行うことで、社会に出たら経験するであろう失敗を学生のうちに経験することが出来ます。今回のコンテストにおける運営もすべて学生が手掛けております。学生の動きにも注目していただけますと幸いです。

今回のコンテストにはあるテーマがあります。それは「ありがとう。」です。私たち学生はこのベンチャ一起業論・Breakthroughで大変貴重な経験が出来ておりますが、決して1人でできるものではなかったはずです。沢山のインターン企業様にお世話になり、活動の中で沢山の社会人の方に出会いました。21年間ベンチャ一起業論とBreakthroughの伝統を脈絡と受け継いでこれたのはOB・OGの方がいたからこそです。そして学校に通わせてくださる保護者の皆様がいなければ今の活動はありません。我々学生が活動できるのは、沢山の「応援者」がいてくれたからこそです。その感謝の想いを「ビジネスプランコンテスト2020」にて学生一同をあげて表現したいと思っております。

最後までどうぞお楽しみください。



福岡大学経済学部産業経済学科3回生
福岡大学ベンチャ一起業論21代執行部学生代表
Breakthrough2020学生代表

田邊 咲樹

執行部紹介

プロジェクト統括

こんにちは！Breakthrough副代表の釜堀侑大です！

私はPJ統括として全22プロジェクトのマネジメントや進捗管理を行う役割を務めています。プロジェクト活動では学生が約20名程度のチームを作り、企業とインターンを行い一年間、「守破離」の理念に基づいて現状分析・問題発見・原因追及・問題解決のプロセスで企業の問題解決を目指し活動を行っていきます。また、このビジネスプランコンテストは、8月の企業対決で学生が自分たちの視点で見つけ出した企業の問題の解決案を提案する場となっています。今年は当初コロナウイルスの影響を受け、活動に苦戦することもありましたが、それでも「ピンチはチャンス」という言葉を糧にオンラインを活用した新たなプロジェクト活動の形を生み出すことができました。こうして私たちが活動ができるのも普段から活動に協力して下さる社会人の皆様や見守って下さる保護者の皆様のおかげです。普段携わって下さる皆様に感謝と勇気を届けられるようなプロジェクト発表を目指し、運営も尽力して参りますので、一年間のプロジェクト活動の軌跡、そして学生たちの熱量をどうぞご覧下さい。



副代表 プロジェクト統括
釜堀 侑大

ご縁つなぎ統括

ベンチャ一起業論×Breakthrough 副代表 ご縁つなぎ統括の森田英介です。私の役割は外回りをする事です。ベンチャ一起業論は大学の講義ですが、多くの外部の方々（経営者など）の支えで成り立っています。私の行動目的は、今までベンチャ一起業論に関わってくださった方とのご縁を深める事。また新たに力を貸していただける、社会人の方とのご縁の創出です。具体的には、お世話になっている企業様に訪問したり、経営者などが集まる会に参加させて頂きご縁を創出しています。

ですが、今年は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、多くの会合がストップしました。

その為なかなかご縁をつなぐことが難しかったです。

だからこそ今年はこれまで私たちの活動を支えてくださった方々への、ご縁を深めていくことに力を注ぎました。

そして今回のビジネスプランコンテストには、この外回りの活動で出会ったご縁をもとに多くの方々をご招待させて頂きました。

また今回初参加の方々も多くいらっしゃると思います。

そんな皆様に恩返しや元気を感じてもらえるようなコンテストを目指してきましたので、宜しくお願い致します！



副代表 ご縁つなぎ統括
森田 英介

運営統括

ベンチャ一起業論 副代表 運営統括の宮浦寧彩です。

私の主な役割は、みんなが受けやすい講義運営、みんなに喜んで頂けるコンテスト運営の統括をすることです。講義は、来てくださる講師の方が講義をしやすい運営をすることはもちろん、受講者が講義に集中できるようにサポートしていくたいと思います。

また、来て下さったお客様に喜んで頂けるようなコンテストをみんなで作り上げていきたいと思います。運営側も、一人一人がしっかり責任を持って、自分の役割に全うし、楽しみながら運営を頑張っていきます。

出場PJと一緒にお客様も「ワクワクやドキドキ」をお楽しみ頂けたら嬉しいです。出場するPJチームが悔いの残らない発表ができるように、運営側も全力でサポートしていきます。出場するPJも、そうでないPJも、運営チームも輝ける！そんなコンテストを作っていきたいです。

よろしくお願い致します。



副代表 運営統括
宮浦 寧彩

プロジェクト1年間の流れ

4月

【PJ発足】

受講生400名が20を超えるPJを自分の意思で選択し、PJが発足。企業対決までに現状分析である「守」の活動を行う。
アンケート活動や、自社、他社へ訪問を行うなど、様々な足を使った活動を行い、徹底的に現状を分析する。

守

8月

【企業対決】

学生ならではの現状分析で発見した「問題」を発表する。
後期のビジネスプランに向けて原因追求を行なっていく。

破

12月

【ビジネスプランコンテスト】

一年間の集大成を発表する。
問題を発見し、問題解決までの過程や成果を学生らしさ×実現可能性といった目線で表現する。

離

評価基準 - Business plan contest 2020-

2020年度のビジネスプランコンテストの点数はこの5つの項目で採点されます。

①課題の抽出 (5点満点)

アンケートや企業訪問などの現状分析から業界・市場・社会背景をもとに、適切な課題を構造的に抽出できるかどうか。

②原因追求 (5点満点)

抽出した課題に対して、原因追求が適切に行われており構造的に仮説を立てているかどうか。

③課題解決 (5点満点)

仮説を実行し、その結果から抽出した課題に対して社会・企業・業界とて適切かつ具体的な解決案を提案できたかどうか。

④行動力 (5点満点)

学生ならではの調査が対象を明確に絞った上で行われており、その結果適切な情報を入手できたかどうか。

⑤プレゼンテーション能力 (5点満点)

発表態度、説得性などのプレゼンテーション能力があり、またプレゼンの論理的な構成ができて、発表時間が守れているかどうか。

合計25点

プロジェクト紹介

あふあい

活動テーマ

乳幼児の子ども達の主体性を地域で育む環境づくり

テーマ業界
教育

PJリーダー
福岡大学3回生 永野 絵理奈



はじめまして！私達は「乳幼児期の子どもをもつお母さんに寄り添う環境づくりをする」事を今年の目標として活動しています！

子どもが輝くためには、まずは大人が輝くことが、子育てに欠かせないと感じています。しかし、時代の変化による関係の希薄化、共働きの増加、保育士不足などが原因で、お母さんと子ども達の居場所が減ってきているのです。

この状況を変えたい！親に育てられる事を経験し、これから親になる私達学生にとって、決して他人事ではないこの問題を解決するべく、16名で活動しております。

日々、zoomや対面を通して、保育者の皆様、保護者の皆様、子ども達、行政の方々や議員さんにお話を聴きながら、子ども達の主体性をより育める環境づくりを模索しています！！

「誰かがやってくれるから」ではなく、自分が当事者になって「私が子ども達の心を育てる環境づくりを進めるんだ」と言う気持ちを忘れずに活動に励んでいきます!!

一人でも多くの子ども達の心がより良く育っていくように、一生懸命楽しく頑張ります！応援宜しくお願い致します。



プロジェクト紹介

ネオ

活動テーマ

学生の問題解決と夢実現

インターン先
株式会社ネオ倶楽部

PJリーダー
福岡大学2回生



こんにちは、neopj です。

僕たちはインターン先のネオ倶楽部さんのご協力の下、収益改善と学生の困りごとの解決を着眼点として活動しています。今回は特にコロナ渦において様々な影響が生じました。

僕たちがやってきたことは、

収入が減った生徒に対して仕事を紹介したり、コロナにおいて、また就職氷河期以上の厳しさになるであろう、就職活動に向けて就活相談会及びセミナー、web上で福岡大学をはじめ、九州大学や西南大学など様々な大学との交流会を行い、学生が抱える問題点の発見から解決をお手伝いするなど、様々な活動をしてきました。後期は、それをビジネスとして確立するための活動を行なっていきます。学生のためになれるよう努力します。

よろしくお願いします！



プロジェクト紹介

JPTラボ

活動テーマ
化粧品の商品開発から販売まで

テーマ業界

PJリーダー
福岡大学3回生 田代 大貴



私たちちは現在、インターン先である友池産業株式会社の新規事業、海外事業部として活動しています。この新規事業のキーパーソンとなるのが、アンチエイジングや予防医学などの研究をされている、岡山理科大学の濱田博喜教授です。そして今回、濱田教授の研究にインターン先の吉見顧問が賛同し、シワへの有効性が認められた特許の取得に成功されました。

私たちは、その特許技術を使った化粧品の商品開発から販売までを行っていきます。

インターン先である友池産業株式会社は、BtoC事業は初めてであり、また化粧品開発も初めての試みなので販路もない、顧客もいない、何もわからない、全てが0の状態からのスタートです。

狙うマーケットは「中国」。しかし私たちは中国のことを全く知らないため、誰に、どのような化粧品をどうやって売っていけばよいのか、わかりませんでした。そこで悩んだ末に思い付いたのが、

中国人の留学生に協力してもらうことです。私たちは留学生と協力し活動を進めていきます。

ゼロから始める化粧品ビジネス。絶対に成功させてみせます。



プロジェクト紹介

メモリード

活動テーマ
ホテルの付加価値を提案

インターン先企業
株式会社メモリード

PJリーダー
福岡大学3回生 萩原 奈央



私たちのインターン先である株式会社メモリードは、冠婚葬祭や人生のトータルライフサポートをされている企業です。創業者である吉田茂視会長は、ビジョンとして「100年企業1000億円企業」を目指されており、私たち学生に時代の変化に対応することや夢を持つことの大切さを教えてくださっています。

プロジェクトでは、今年は「ホテル事業」に着目し活動をしています。新型コロナウイルスやそれによる新しい生活様式・価値観への対応、他社との競争など様々な問題があります。私たちは、学生ならではの視点からメモリードの次世代の顧客獲得のため情報発信に力を入れていきたいと考えています。実際に福岡にある8月にオープンしたばかりのガーデンテラス福岡で実証する機会をいただきました。そこで、自社や競合他社への訪問・ヒアリング活動、顧客アンケートなど、様々な視点から真の問題は何か調査を行い、解決策を考えていきます。応援よろしくお願ひします！



プロジェクト紹介

なんじゃこりやー

活動テーマ
博運社の利益を上げる改善案の提案

インターン先企業
株式会社博運社

PJリーダー
福岡大学2回生 和田 宗真



TEAMなんじゃこりやーPJは昨年企業対決、ビジネスプランコンテストを優勝して二冠達成しました。

今年もまたセンター先は物流企業の株式会社博運社です。博運社の福岡支店の運送事業の収益を改善のため活動していきます。昨年の活動では現場の改善案の提案まではたどり着いたものの実行までは至る事が出来ませんでした。

だから今年こそは現場の改善案を実行して、その成果を出すという思いからプロジェクトを引き継ぎ活動してきました。

博運社の現場は30年間変化なく、時代の変化に対応出来ていない状況でした。だからいきなり機械化ではなく、まずは小さな改善から行って行こうと現場作業の荷物の仕分けの改善に取り組んでいます。

そして今年こそは利益を出せる提案をしていきます！



プロジェクト紹介

アトモス

活動テーマ
ゴーストレストランとデリバリーの土台作り

インターン先企業
アトモスダイニング

PJリーダー
福岡大学3回生 西田 凪沙



今年飲食業界はコロナウイルスによって業界全体で大打撃を受け、私達のインターンであるアトモスダイニングもダメージを受け売り上げは最大で80%減しました。

この危機からインターン先を救うべくアトモスpjは発足しました。前期までの活動では、アトモスダイニングは主にイートインが売上のほとんどを占めているという問題を見つけました。時代はテイクアウトやデリバリーなどお店で食べるという習慣が薄れているにもかかわらず、それに対応しきれてないというのが大きな問題でした。

なので私達アトモスPJは、インターン先のテイクアウト、デリバリーの強化を行い時代への変化対応を図ります。

これから先もインターン先が、人々の心を食を通して豊かに出来る様に、精一杯頑張ります！

そしてインターン先を救います！！

このコロナ渦の時期にプロジェクトを発足した意義を見出せる様なプロジェクト活動にしたいです！



プロジェクト紹介

ふく友

活動テーマ
留学生の就活支援

テーマ
留学生支援

PJリーダー
福岡大学2回生 菊池 啓佑



どうも！ふく友プロジェクトです！

ふく友プロジェクトは留学生支援を行っています。

私達のプロジェクトは他のプロジェクトとは違う点があります。それは、インターン先がないということです。ですので、学生の考えたプランで留学生支援を約半年間ほどおこなってきました。今までどのような形で留学生支援をしてきたのかといいますと、留学生と日本人の交流を深める交流会を開催したり、留学生が就活に困っていたら、留学生の就職支援をおこなったりしてきました。これからもふく友プロジェクトは留学生と日本人と一緒に楽しめる大きなコミュニティを作ると同時に、留学生の一番の困りごとである、就活を手助けする仕組みを作るために日々精進していこうと考えております。



プロジェクト紹介

みやき +

活動テーマ
佐賀県みやき町の活性化

テーマ
町おこし

PJリーダー
福岡大学3回生 黒木 奎佑



こんにちは！私たちはみやき+プロジェクトです。私たちは今年で3年目のプロジェクトで町おこしのプロジェクトです。

現在日本では、人口減少や少子高齢化により地方衰退が起こっています。全国の1718の自治体のうち896もの自治体が「日本創生会議」により、少子化の進行にともなう人口減少によって存続が困難になると予想され消滅可能性都市に認定されています。

実際に私たちのプロジェクトメンバーの20人のうち7人のメンバーが消滅可能性都市に認定されています。この日本の現状を改善したい、地方を活性化させたいという同じ志を持ったメンバーで発足しました。

私たちはまず福岡の近くで地域活性化に成功している町を探しました。するとなんと！この福岡の近くで、消滅可能性都市に認定されながらも子供の数を増やすことに成功している町を見つけました！それが佐賀県のみやき町です。私たちはこの町を活動拠点とし町おこしのノウハウや成功している町でも起こっている問題を調べています。この町が地方衰退を止める町となるように私たちは頑張っていきます！



プロジェクト紹介

九州電設

活動テーマ

九州電設の20年後の構想を作り上げ、その一歩を踏み出す

インターン先
九州電設株式会社

PJリーダー
福岡大学4回生 高場 大貴



私たちのプロジェクトは、会長、社長、副社長など経営幹部に重点的に関わってもらいました。決算書、経営指針書など様々なデータを公開して頂くとともに経営の考え方を徹底的にご指導頂きました。「心の満足度」「利益分配」「三方良し」などのキーワードの中で、利益ではなく関わるすべての人の幸せを追求していったところに九州電設の哲学を感じました。そんな九州電設と学生が取り組むテーマは「新規事業の開発」。良い会社、強い会社として強固なビジネスモデルを構築し、2代目社長への後継を果たした九州電設。事業が健康なうちに、顧客のニーズや時代の要請を捉え、「何をやって」「何をやらないか」を決めることが重要になる。経営者が大きなビジョンを掲げて、実現に向けて挑戦し、変化し続ける企業。今、「会社を守るために、攻めの一歩が必要」「挑戦する文化」を社内に作っていく。九州電設とともに「検討」より「検証」。失敗を恐れず挑戦するプロジェクトとして邁進していきます。



プロジェクト紹介

さくらフォレスト

活動テーマ

商品力アピールした広告を出しV字回復に貢献

インターン先
さくらフォレスト株式会社

PJリーダー
福岡大学2回生 寺井 優樹乃



こんにちは！

さくらフォレストPJです✿

私達のインターン先はさくらフォレスト株式会社です。

さくらフォレストさんは主力である通販事業をはじめ飲食事業や宿泊事業など様々な事業を展開されています。

会長である岡部さんは若い社員の才能を伸ばせない環境を作るべきでない。社員には沢山チャレンジをしてもらって成長してほしい。という思いがあります。実際に、会社に行ってみると、性別や入社年数、年齢に関わらず、どの社員さんも生き生きと働いておりとても明るい職場雰囲気です(^^)

ビジネスプランコンテスト出場して、プロジェクト活動に関わって頂いた方々に恩返しできるようにがんばります！！



プロジェクト紹介

IIJ

活動テーマ
新しいビジネスの構築

インターン先
株式会社インターネットイニシアティブ

PJリーダー
福岡大学2回生 黒木 麻衣



みなさん、こんにちは！

IIJプロジェクトです！私たちのインターン先は株式会社インターネットイニシアティブ九州支社です。私たちのミッションは新しいビジネスの構築です。

前期はIT勉強会をIIJ九州支社のエンジニアさんと一緒に行ったり、IIJの事業内容を理解するためにzoom会議や会社訪問を行いました。

後期の活動ではミッションである新たなビジネス構築のために学生の視点をもって身近な問題をITで解決していきたいです！

応援よろしくお願ひいたします！



プロジェクト紹介

アビスパ

活動テーマ
アビスパ福岡と共に新たな魅力の創出をし、売上を上げる

インターン先

PJリーダー
福岡大学2回生 中原 陽太



去年から、アビスパ福岡公認の学生団体ASO (Avispa student organization)として活動させていただいており、今年は、福岡大学のベンチャー起業論でのプロジェクト活動と連携したチームとしてアビスパPJを復活させメンバー約30名で活動しています。

去年までのテーマとして、試合での学生の観客動員数の増加を目標に活動してきました。今年は、今までの活動とは違う目線で、アビスパ福岡の強みであるスポンサーのことをテーマにしました。

アビスパ福岡は、他のクラブよりもスポンサーの数が多く、より地域に応援していただいているクラブであることがわかります。そのような強みを保つためにも、スポンサー満足度を上げ、スポンサーの継続率を上げることを目標に、アビスパのスポンサーであるためのメリットを増やしていきたいと思っています。その中で、学生団体であるASOとしての存在価値を高め、来年・再来年へつながる活動の基盤づくりをしていきたいと考えています。スポーツという簡単ではない業界に学生の力を使い、挑戦していきたいと思います。

応援よろしくお願いします。



プロジェクト紹介

朝日新聞She

活動テーマ
SDGsを気軽に学べるカードゲーム『SEh』の商品開発から販売まで

インターン先
株式会社朝日新聞

PJリーダー
福岡大学4回生 田子森歩美・本村祐華



私たち福岡女学院大学浮田ゼミ朝日新聞SEhプロジェクトは、株式会社朝日新聞社様と産学連携協定を締結し、気軽にSDGsを学べるカードゲーム『SEh』を開発しました。『SEh』は、新聞を使って行うゲームで、身近なことからSDGsに触ることができます。また、私たちが開発した3種類のカードを使うことによって、考え方や学んだことを他者に分かりやすく伝える力を養うことができます。現在、多くのメディアに取り上げられ、知らないと恥ずかしいものであるSDGs。しかし、まだまだその認知度は低く、特に自分のこととして捉える当事者意識が足りません。私たちが開発した『SEh』で、楽しくSDGsを学び、それを多くの人に伝え、一人ひとりが「自分に出来ることは何か」を考え、行動する。そして、社会や世界が変わっていくことを願っています。今期は、トライアルの実施数を増やし、『SEh』のブランド価値を高め、販売することを目指します。

福岡女学院大学 Bチーム



プロジェクト紹介

KAIZEN

活動テーマ
外来再診患者を減らす

インターン先企業
福岡大学病院

PJリーダー
福岡大学3回生 伊達 昇太郎



KAIZENPJリーダーの伊達昇太郎です！

KAIZENPJは今年で結成10年目を迎えるPJで、インターン先は福岡大学病院です！

KAIZENPJは約9年間、福岡大学病院の現場改善に取り組んでおり、今年も福岡大学病院の現場改善、特に待ち時間問題解決に取り組んでいます！病院へ行った際に待ち時間が長いと感じた事が皆さんもあるのではないでしょうか？？実際福岡大学病院でも待ち時間というのは大きな問題となっています。

今年の活動は収益を落とさず、来院数を減らせないかと考えた末、「遠隔医療」に辿り着きました。

遠隔医療とは、情報通信機器を使い、画面越しで診療を行う診察方法の事です。コロナウイルスの影響で、全国各地で遠隔医療を導入している病院が増えたり、また最近ではデジタル庁が新しく設立され、その推進項目の中にオンライン診療(遠隔医療)があり、今後更に遠隔医療は確実に伸びていくと思います。

ビジネスプランコンテスト出場は勿論の事ですが、学生の内から社会の動きについて勉強できるこの環境に感謝し、今後も活動を続けていきたいと思います。メンバー一丸となって、精一杯頑張りますので、今後とも応援の程宜しくお願ひします！



プロジェクト紹介

あそび

活動テーマ
子供に選択肢を増やし居場所を見つける

インターン先
福岡てらこやあそび

PJリーダー
福岡大学2回生 **生野 みさと**



こんにちは！あそびプロジェクトです！

私達は「福岡てらこやあそび」というフリースクールにインターンしています。ここは「自由」なフリースクールになっており、子供だけでなくお母さんも一緒に通うことができます。学びとして学業だけでなく、ヨガやプログラミング、アートなど幅広く子供のやりたい事を学ぶ事ができます。

私達あそびプロジェクトは、学校に行っていない子供が必要としているこの福岡てらこやあそびさんがこれからも続けていけるよう、今後を見据えた仕組みをつくるために何をしていけば良いのか、学生らしい視点で学生らしい発想で解決していきたいと考えています。そして、より多くの子供達の手助けとなるようあそびプロジェクトのみんなで努めますので皆さん応援よろしくお願い致します！



プロジェクト紹介

PUI

活動テーマ
幸福シーンの最大化

インターン先企業
有限会社一柳

PJリーダー
福岡大学3回生 **上野 佑莉**



私たちPUIプロジェクトは、今年創業101年目を迎えた老舗洋菓子店パティスリーイチリュウ様と活動させて頂いております。

プロジェクト名は パティスリーのP 一柳様のI そしてこの二つを結ぶ 浮田ゼミのUが由来となっています。

PUIプロジェクトは2年目の継続プロジェクトです。今年もこのプロジェクトを必ず成功させるべく、学外活動が出来ない状況でも立ち止まることなく、日々活動に励んでいます。

昨年好評だったイチリュウ子ども大学はコロナウイルスの影響で、今年は開催しないこととなりました。オンラインやコンテスト形式など様々な企画を考えましたが、やはり対面で行うことには意味があるという私たちの思いから、苦渋の決断の末、来年に開催を持ち越します。代わりとなる活動を現在一柳様にご提案中です。

情報仲介装置というアンケートシステムを活用するなど、他のチームにはない独自性と文系女子大生ならではの特徴を活かしながら今後も活動に励んでいます。



プロジェクト紹介

キューセツ

活動テーマ
九州電設の海外進出の実現

インターン先
九州電設 株式会社

PJリーダー
福岡大学3回生 泉 太一



私たちキューセツプロジェクトのインターン先は九州電設で、活動テーマは、九州電設の発展と海外進出です。

私たちのインターン先である九州電設の穴井憲義会長が今後20年、30年先を見据え、ビジョンとして掲げている九州電設の海外進出を実現するために、私たちは立ち上りました。

日本の人口減少により、企業の海外進出が注目され、様々な企業が海外進出に試行錯誤している中、学生ならではの視点から切り口を見つけ出し、開拓していきたいと思います。

また、インフラ産業である電気設備業が海外進出しにくい今の日本の現状を打破することによって、一企業の利益では無く、今後の日本の考え方を変えるような取り組みになっていくのではないかと考えています。電気設備業において九州電設をモデルとして、海外と日本の架け橋になるような取り組みを今後していきたいです。



プロジェクト紹介

カウ

活動テーマ
学生、企業に価値のある情報を届ける

インターン先
株式会社 カウテレビジョン

PJリーダー
福岡大学3回生 三浦 志穂



こんにちは！カウテレビジョンPJです。私たちのPJのインターン先は「企業専門のインターネットTV局」である、カウテレビジョンさんです。

私たちは学生の身近な問題である就職活動の問題に取り組んでいます。PJビジョンは学生、企業に価値のある情報を届けることです。そのために、もっとカウテレビジョンさんの就活に役立つ動画を沢山の学生に見てもらったり、学生が本当に求めている情報を届けることを考えています。

また、コロナ禍で就活が困難な学生が多いので、少しでも情報探しなどの面でお役立ちが出来ればいいなと思います！カウテレビジョンさんのように「楽しさトイック」の精神で活動を日々頑張っていますので、ぜひ応援をよろしくお願ひ致します！



プロジェクト紹介

アットホーム

活動テーマ
福岡外語専門学校を学生主体の学校にする

インターン先企業
さくらフォレスト株式会社
PJリーダー
福岡大学2回生 **山下 創一郎**



こんにちは！！アットホームPJです！
私たちのインターン先は福岡外語専門学校です。
ここでは、日本人と留学生が語学を学んでいます。
最初は新型コロナウイルスの影響で、留学生の声を聞くことが難しく、福岡外語専門学校の学生の声を中々聞くことができませんでした。
しかし、先生に留学生を紹介していただき、オンラインツールを利用したり、自粛期間が明けて実際に会ってお話を聞いていくうちに、福岡外語専門学校では、交流する機会が多くあるにも関わらず学生が中々参加できないという現状がありました。
そこで、福岡外語専門学校の学生を巻き込みながら、ベンチャーアイデア・阿比留ゼミの活動をモデルとし、福岡外語専門学校に通う多くの学生が主体となって活動できる仕組みを作ります！



プロジェクト紹介

TAKARA

活動テーマ
建設業界活性化を目的とする団体の組織強化

インターン先企業
一般社団法人 建設職人甲子園
PJリーダー
福岡大学3回生 **木下 美結**



TAKARAプロジェクトです。

私たちのインターン先は一般社団法人建設職人甲子園さんです。この団体は、建設職人業界の活性化を目的に設立され、一般の方々に建設業界の魅力を伝える活動や、建設職人の方々を対象とした勉強会などを行っています。例年、このようなイベントの開催を中心に活動している団体ですが、今年はコロナウイルスの影響により、団体としての活動が困難な状況となっていました。そこで私たちTAKARAプロジェクトは、団体の「組織」に着目し、建設職人甲子園の質の向上を目指し活動しています。理事の方々の役職や団体の会員制度、お金についてなど、例年ではイベント開催やその準備に追われ、それらの管理にあまり手をつけることができていません。時間に余裕がある今年にしかできることを、この1年間、私たち学生と、団体の方々で力を合わせ、全力で建設職人甲子園の問題解決・質の向上をゴールとして掲げ、活動しています。



プロジェクト紹介

LIFE

活動テーマ
SNSによる集客

インターン先企業
タンスのゲン 株式会社
PJリーダー
福岡大学3回生 自見士洞



LIFEプロジェクトは32名で活動しており、インターン先は、家具・家電・寝具・インテリア用品などのインターネット通販を主な事業としているタンスのゲン株式会社さんです。

私たちLIFEプロジェクトはタンスのゲンさんのSNSの強化をし、SNSによる集客を活動のテーマにしています。

LIFEプロジェクトのLIFEは、ダンスのゲンさんの企業理念である『暮らしの未来をデザインする』と『Design the Future』という理念から生活や暮らし、未来という単語からLIFEという名前をつけました。

テレビや新聞から情報収集していた時代から現代では、インターネットやSNSから情報収集する時代へと変化してきています。そこで私たちはタンスのゲンさんと会議を重ね、SNSに重きを置いて活動することになりました。

LIFEプロジェクトは32名とどのプロジェクトよりも多くメンバーがあり、1人1人が個性的でさまざまな観点からの意見が飛び交い仲の良いプロジェクトです。

私たちのモットーは『本気でやれば楽しくなる。楽しくやれば本気になる。』です。

1年間を通して、自分たちのプロジェクトが1番楽しかった。自分たちのプロジェクトが1番熱くなれた。そう言えるようメンバー全員で力を合わせて活動に邁進していきます。



プロジェクト紹介

GS

活動テーマ
人脈形成で海外進出

インターン先企業
三國有限公司
PJリーダー
福岡大学4回生 寺門稜



こんにちは。グローバルステージプロジェクトです。

参加メンバーは、日本人学生3名、留学生10名で活動しています。私たちは目的を『留学生で協働し日本の商品やサービスを販売できる人材になる』と掲げ、自分たちで実際に売上を作ることを目標に活動を行っています。実際の活動内容は、日本人学生は日本国内の人脈を使って、日本の商品の仕入れ値段交渉を行い、留学生には海外現地の人脈を使って日本の商品を販売してもらうということをしています。現状分析、市場分析から始まり、ビジネスモデルを考え、商品販売に至っています。現在は、中国人そして、台湾人に協力してもらい、二国での日本の商品・サービスの販売を行っています。

